

高天神城絵図調査

パートナー産業さんの復元ジオラマ第2弾高天神城の参考として、所蔵絵図を調査した。

1・伊那伊豆木小笠原家家臣加藤正治寛政年間の調査図『遠江高天神』 28 x 35 cm 「城地海道ノ南二当ル。甲州方縄直シタル図今ハ廢城ト成テ如此今川義元領ノ時福島上総介政成徳川領ノ時小笠原与八郎長忠武田領ノ時番手城タリ」と記される。

2・『遠州高天神城図』 44 x 52 cm 空堀をピンクに描く 本丸に天神図、東に要目曲輪、西に西丸、間北大谷に裏門、南に本丸から大手口、谷深さ五三間、主要郭に大きさ記入

3・『遠江国高天神城図』 28 x 39 cm 基本2図と同系の軍学図 記載は天神ノ社、コシ郭、西ノ丸、大谷、水ノ手、南のみ、水の手は西の丸西降りたところに記載。

4・『高天神之城』 25 x 32 cm 基本2図と同系の軍学図 記載は2図ト変わらず、郭の周りに土堀を描く。 虫損有補修済

5・『高天神城栗田氏古図』 41 x 56 cm 「高天神城戦史ヨリ写ス、天正2年夏6月開城当時、昭和43年戊申3月林隆平之写ス」とあり、城郭研究家林隆平氏の模写図である。同氏の描かれた関連資料は古書市場で一括収納している。昭和10年増田又右衛門『高天神城戦史』65頁及び昭和44年同復刻本59頁には、元図が線画で収録されている。これを着色されたものであるが、穴を牢とされるなど、間違いや省略も見受けられる。なお、同書には栗田氏について小笠郡中内田村平尾八幡宮神職とし、栗田氏古図として高天神城山平面図や城東郡高天神近郷並砦之図が収録されている。同時に基本2図と同様の高天神城之図が記載されている。2-4は高天神城軍学絵図の基本と考えられる。

6・『高天神之城図』 15 x 18 cm 遠江国風土記伝収載図 木版 諏訪原城とともに木版で出版された。2-4図と大同小異である。

7・『遠州高天神古城』絵図写真、原図の収納先が記録されていない。2-4図と同様。

8・『高天神山城』 本田昇縄張図 1973年 1250分1 38 x 53 cm

9・『遠州高天神城趾要図』 国学院大学城郭研究会 63 x 85 cm 青焼き

10・『5000分1実測図』 高天神城周辺地形図 98 x 108 cm 青焼き

富原文庫収蔵絵図地図は以上であるが、調査の結果。

類友山下和正氏は高天神図を所蔵されている。58 x 52 cmで作者、年代は記されていないが、コシ郭に小笠原与八郎曲輪とあり、絵図には北の大谷に鳥通らず故に橋を架けたり、西の丸2か所に櫓台、各郭に本丸との高低差記入さ

れるなど実査された絵図と思われる。弘前藩の城築規範や前田家育徳会の諸国居城図には高天神城は収録されていない。国会図書館諸国古城之図は未確認である。

関連図書

戦前不明 『高天神城史抄録』 著者、年代とも未記入、内容は戦史。8頁。

昭和10年『静岡県史蹟名勝天然記念物調査報告第十集』静岡県 史蹟の部に高天神城趾収録

鷲山恭平・増田又右衛門 栗田氏絵図二枚カラーで収録

『高天神城戦史全』増田又右衛門、増田実 栗山氏所蔵絵図すべて収載。

昭和38年『高天神城趾案内』増田実 小冊子ながら栗田氏所蔵絵図すべて掲載。

昭和41年『高天神城の話』増田実 小冊子

昭和43年『高天神の跡を尋ねて』藤田清五郎

昭和44年『高天神城戦史全』再版 増田又右衛門、増田実 栗山氏所蔵絵図すべて収載。

昭和46年『大塚薬報』収録古城めぐり第150号 藤崎定久 高天神城要図収録、昭和52年『日本の古城5補遺西日本』に再録。

昭和52年『高天神城の譜』嵯峨瑞祥

昭和54年『古城を尋ねて二遠州高天神城』見崎関雄 遠州高天神城図加賀前田家所蔵元禄10年写図を模写江崎俊平と記された絵図を収載する。伊賀曲輪、御殿、御前曲輪、岡部丹後曲輪、せいらう櫓、赤根ヶ谷口、池ノ段等の特徴ある記載がある。前田育徳会尊経閣文庫所蔵『諸国居城図』には高天神城は収録されていないため、原図不明である。

昭和56年『浅野文庫蔵諸国古城之図』遠江高天神 絵図収録

信玄陣取、権現様御陣城、本城、西城、小笠原与左衛門曲輪、水溜記載。

昭和56年『あやうし高天神』清水達也 小説

昭和63年『高天神の跡を尋ねて増刷版』藤田清五郎

平成5年『高天神城の総合研究』小和田哲男 大東町教育委員会

平成5年『遠州高天神城実戦記』 本多清定著鶴籐満夫訳

平成8年『史跡高天神城跡保存管理計画策定報告書』大東町教育委員会

高天神城跡地形測量縄張図・周辺地形測量縄張図・周辺地形測量図

作成

浅野文庫諸国古城之図から遠江高天神をカラーで収録

平成9年『秋風高天神城』 三戸岡道夫 小説

平成 11 年『史跡高天神城跡基本整備計画策定報告書』大東町教育委員会
平成 16 年『史跡高天神城跡一二ノ丸ゾーン発掘調査報告書』大東町教育委員会

平成 21 年『高天神攻城戦と城郭―天正期徳川氏の付城を中心に―』土屋比都司 中世城郭研究第 23 号抜刷 平成 20 年作成高天神城縄張図及び陣城縄張図多数収載。

以上の結果、特徴的な絵図、つまり、単なる写しではなく、現地を調査した江戸期の絵図は甲州流軍学者加藤正治の 1 遠州高天神、山下和正氏所蔵高天神図、浅野文庫所蔵遠州高天神、栗山氏所蔵高天神城古図、江崎俊平氏模写前田家絵図の 5 絵図となる。栗山、江崎絵図は現物未確認である。